



▲「水脈の声 久野和洋×卯野和宏」展より

卯野和宏
〔画家・境町文化芸術アドバイザー〕

境町アートプロジェクトによるS-Gallery 肅黎寶美術館の企画展事業がスタートしてから1年が経ち、2年目となる新年度が始まりました。同館にはお立ち寄りいただけましたでしょうか？まだ、という方はぜひお誘い合わせの上アートをお楽しみいただけましたら幸いです。

新年度第1弾企画の「水脈の声 久野和洋×卯野和宏」展（4月3日～5月6日）は日本橋三越本店や名古屋画廊のご協力のもと、日本を代表する具象画家である故・久野和洋（享年83歳・武蔵野美術大学教授）氏の作品のお力もあり、町内の方々ははじ

め、遠方からも多くのご来場がありました。展覧会アンケートには「とても素敵です。心に沁みました。また他の作品も楽しみにしています。（境町在住）」「絵の奥深さを感じました（境町在住）」「この展示を通して美術館のことも知ることができました。（古河市在住）」「絵の世界で生きてみたいくなりました。かけがえのない展覧会、企画をありがとうございました。（東京都品川区在住）」「2人の美しく写実を貫いた作品を観て改めて自分に喝を入れる機会になりました。遠かったけど本当に観に来られて良かった。（静岡県沼津市在住）」などの声が寄せられました。ご覧くださった皆様誠にありがとうございました。今後ともより良い企画展を作って行くとともに、画家としてもより良い作品をお見せできればと思います。

企画展について、また、境町アートプロジェクトについてご意見ご感想ご提案などありましたら、引き続き美術館アンケートにお声をお寄せください。境町のアートを今後も盛り上げて行ければと思います。

さて、今年度第2弾となる企画は境町の画家・肅黎宝による「印で遊ぶ 肅黎宝と遊印の魅力」展です。「遊印（ゆういん）」と呼ばれるハンコには、思想や縁起のいい言葉、イラストやマークなどが刻まれており、作品を装飾することを目的として使われ、またそこには作者の思いや気持が込められているとも考えられています。肅黎宝は、この遊印を約数百種類所有しており、刻まれた文字、大きさ、デザインなどは多種多様です。今回の展覧会では、肅黎宝が作品制作に使用していた遊印とそれらが押印された作品を展示します。消しゴムハンコ作りのワークショップやトークイベントも開催されます。どうぞお楽しみに。ご来

場お待ちしております。

「さかいまち国際児童画展」芋づる画廊の企画も進行中です。さかいまち国際児童画展は来年2月の第二回展開催へ向けて再び作品を募集します。海外のお友達と一緒に絵を通して交流してみましよう。芋づる画廊は限研吾建築であるHOSHIMONONO 100 Cafe（境町1459-1）2階にて境町出身の画家である内海聖史と卯野和宏の絵画を毎月交互に展示替えしています。境町にお住いの方は展示作品を10%割引にてお求めになれます。美味しい干し芋やコーヒと一緒にぜひご鑑賞ください。

梅雨に突入する季節となりました。雨が降るとアクティブに外で遊ぶことが難しくなってくるかもしれませんが、そんな時はアート観賞がオススメです。例えば展覧会に出品されている多くの作品の中から1点だけを選んでいたら自分ほどの作品を選ぶかを決め、それを友達や家族で話し合ったりするのも面白いと思います。それぞれに感じたことを話し合い、広がる交流やイマジネーションをぜひ楽しんでみてください。自覚していなかった自分のセンスや新たな一面に出会うことができるかもしれません。

展覧会情報

MTSUKOSHI ART WEEKS 卯野和宏特集（日本橋三越本店本館7階・5月22日～27日）
デ・キリコ展（東京都美術館・4月27日～8月29日）
「人間国宝 松井康成と黄金の茶道具」展／「縄文のビーナスⅡ筑西市に現る」展（廣澤美術館・5月16日～7月28日）

S-Gallery 肅黎寶美術館 information 茨城県猿島郡境町 1455-1 TEL:0280-23-4148

しゅくさんぽう 卯野和宏
しゅくさんぽう 肅黎寶と遊印の魅力
ゆういん
2024
5/15 | 水 | - 7/25 | 木

町の人口と世帯数 ※令和6年6月1日現在の常住人口（前月比）

■総人口 23,874人 (+18) ■男性 12,119人 (+10) ■女性 11,745人 (8) ■世帯数 9,321世帯 (+33)

■発行所 / 境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集 / 秘書広聴課 ■発行日 / 令和6年6月1日
■境町ホームページ https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/